

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第3グループ(平間・玉川・西加瀬)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

	H27		H28		H27		H28		
	利用実績	1 平間こども文化センター ①年間延べ利用者数	39,397人	41,885人	②年間延べ利用団体数	652団体	640団体		
	2 平間小学校わくわくプラザ ①登録者数	206人	228人	②年間延べ利用者数	15,964人	14,295人			
	3 下河原小学校わくわくプラザ ①登録者数	119人	128人	②年間延べ利用者数	7,601人	8,497人			
	1 玉川こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,799人	33,418人	②年間延べ利用団体数	388団体	413団体			
	2 玉川小学校わくわくプラザ ①登録者数	284人	250人	②年間延べ利用者数	20,105人	20,644人			
	3 下沼部小学校わくわくプラザ ①登録者数	424人	445人	②年間延べ利用者数	24,605人	27,245人			
	1 西加瀬こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,398人	33,069人	②年間延べ利用団体数	359団体	379団体			
	2 荻宿小学校わくわくプラザ ①登録者数	255人	286人	②年間延べ利用者数	17,133人	18,547人			
	3 木月小学校わくわくプラザ ①登録者数	150人	163人	②年間延べ利用者数	10,943人	10,581人			
収支実績	単位:円								
	1 収入								
	指定管理料	149,222,097							
	2 支出								
	人件費	115,075,205							
	管理費	9,249,535							
	事務経費	8,045,837							
	その他経費	9,886,851							
	合計	142,257,428							
	3 差引	6,964,669							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書及び事業計画書に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・西加瀬こども文化センターでは、いこいの家との合築施設という特性を活かし、両施設の利用者の交流事業として、「ピクリション」を開催するほか、交通安全教室を合同で開催している。 ・平間こども文化センターでは、「はり絵教室」の指導者や国際竹とんぼ協会のメンバーに、センターまつりや餅つき大会で幼児親子や小学生が指導を受けたほか、玉川こども文化センターでは、中丸子いこいの家のコーラスサークルを招いて「童謡コンサート」を開催するなど、グループ全体として多世代交流に意識を持って取り組んでいる。 ・こうした取組により、こども文化センター3館の利用者数は前年度から、約2,700人増加している。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「子ども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズについては、利用者や保護者からのアンケート調査や、運営協議会、子ども運営会議、保護者懇談会を通じて意見を集約し、適切に対応できている。</li> <li>特に、平間小学校わくわくプラザでは、子どもたちの意見に基づき、子どもたちの自主的な活動としての図書係の発足につなげるなどの取組を行っている。</li> <li>地域、学校及び行政機関との連携について、平間子ども文化センターでは中原区食生活改善推進員の協力による「にこにこキッチン」(年間4回)、玉川子ども文化センターでは陶芸サークルによる児童向けの「陶芸教室」、下河原小学校わくわくプラザでは下河原小学校の協力による「遊び研修」を開催するなど、地域の様々な主体と連携する状況が生まれている。</li> <li>広報については、通常のたよりに加えて乳幼児向けたよりに、中高生たよりを発行したほか、下河原小学校わくわくプラザ及び荻宿小学校わくわくプラザでは、子どもたち自身が活動をまとめて新聞を発行するなど、様々な媒体を用いた積極的な広報の工夫がなされている。</li> <li>子ども文化センター運営協議会については、定期的に開催するだけでなく、西加瀬子ども文化センターの「子どもスポーツ杯」など、運営協議会との共催事業を積極的に実施した。</li> <li>特に、玉川子ども文化センターの「センターまつり」では、運営協議会を通じて町内会等に来場やボランティアとしての参加を呼びかけたことで、多くの子どもや地域住民が協力・参加し、地域とのつながりが生まれている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置がされている。</li> <li>研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的かつ多様な研修が行われており、下河原小学校わくわくプラザでは、県主催の「アクティビティ研修」に参加した職員が研修内容を他の職員にフィードバックするなど、研修内容の情報共有も行われている。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。</li> <li>また、個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備等の保守管理については、西加瀬子ども文化センターでは、施設の老朽化により危険が生じている箇所(体育室の壁等)について補修を行ったほか、危険箇所を利用者が認識しやすいよう職員が創意工夫して安全確保の措置を行った。</li> <li>利用者の安全確保については、西加瀬子ども文化センターでは、児童の負傷事例について、館長が対応を時系列でまとめ、課題を検証した上で、館内及び管轄のわくわくプラザで職員にスタッフ会議等で周知徹底しており、実践的な安全確保の取組が行われている。</li> <li>玉川子ども文化センター、玉川小学校わくわくプラザ及び下沼部小学校わくわくプラザでは、合同で「地域マップ作り」のための地域パトロールを行い、都市開発の進行に伴う新規集合住宅の増加や交通事情・危険箇所の変化などの、地域の状況変化・課題の変化を把握し、子どもたちの安全意識の啓発を行った。</li> <li>また、各施設とも衛生管理についてマニュアルの整備、職員向けの研修の受講のほか、施設に嘔吐物処理セットを設置し、感染症対策を行った。</li> <li>さらに、食物アレルギーについては、おやつなど食品の提供の際には保護者に確認するなど十分に注意するとともに、アドレナリン自己注射薬を携行している児童についてはランドセル置き場を固定して緊急時の対応に備えた。</li> <li>特に、平間小学校わくわくプラザでは、アレルギー研修を行い、アドレナリン自己注射薬投与の実践練習も行った。</li> </ul>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまで子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行ってきた経験を活かし、安定した施設運営を行っており、利用者の安全や災害時の対応にも配慮して適正に業務を遂行している。

また、一部の事業において、地域課題の把握・分析に基づく企画運営がなされていることは評価できる。

さらに、今後の展開においても、運営協議会その他地域からの意見聴取や、指定管理者自ら積極的に地域の実態把握に努めるなどの取組をさらに進め、きめ細かく対応していく必要がある。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

利用者ニーズの把握、地域課題の把握及び地域との連携をさらに進めるとともに、職員のスキル向上等にも継続して取り組み、子育て支援、青少年の主体的な活動、市民活動の拠点として、より一層充実した運営に努めてもらいたい。